



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE  
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH  
(JADR)

# 国際歯科研究学会日本部会 会 報

1982—II

10月

## 1. 1982年第2回理事会

日 時：9月24日11時

場 所：日本歯科大学 第1会議室

出席者：森政和会長，三浦不二夫副会長，田熊庄三郎前期会長，河村洋二郎理事，  
小西浩二理事，常光旭理事，小椋秀亮理事，須賀昭一事務局長

議 事：

### (1) 報告事項

#### i) 庶務報告(須賀事務局長)

- a. 本部の日本部会会員名簿校閲の件
- b. 1981年本部追加会費徴収の件
- c. JADR会費徴収状況
- d. JADR会員名簿の作製について
- e. Edward Hutton Awardの件

#### ii) 1982年JADR大会準備状況(三浦副会長・小椋理事)

### (2) 協議事項

- i) 1982年JADR大会のプログラム編成の件
- ii) 事務局長改選の件

## 2. IADR 本部における日本部会会員名簿の校閲について

去る4月、本部からの依頼で本部に記録されている日本部会会員のリストを全面的に校閲する作業を行った。JADR事務局の資料と照合して、所属、住所等を改め、大学の名称などを統一した。最近、大学の新設にともない所属、住所の変更が多い様であるが、その際には至急、JADR事務局のみならずIADR本部にも御連絡いただきたい。

## 3. 1981年度本部追加会費徴収について

去る4月より本部からの依頼でJADR事務局が1981年度本部会費追加分を未納者から徴収する事務を代行して来た。6月30日切った段階での徴収状況は下表の如くである。

	本部から徴収依頼 のあった未納者	納 入 者
会 費 の み (\$8)	108 名	72 名
会費+会誌購読 (\$16)	146 名	111 名

今回の徴収に際しての未納者に対しては今後の本部年度会費の徴収の際に合算して請求されるとのことである。

## 4. JADR 会費の徴収について

6月18日にはJADR会費未納者に対して至急納入方お願いの手紙を発送した。その際、長期未納者はconstitutionの規定により会員権を失うことについての説明を行った。9月15日現在で長期未納者は35名であり、本年度発行予定の新しい会員名簿にはそれらの方々の御名前は掲載されないことになる。

## 5. JADR 名簿作製について

本年12月末発行を目ざして新しい会員名簿の編集を行っている。そのために去る8月1日に往復葉書をお送りし、資料事項を記入の上、返送方をお願いした。現在まで未返送者は54名おられる。それらの方々について事項は事務局の記録によって記載されることになるが、いくつかの項目については空欄のままなることを御了承いただきたい。

## 6. 1983年 IADRシドニー大会出題募集について

1983年8月1日から3日にかけてオーストラリアのシドニーで IADR 第61回大会が開催されるが、それに対する出題については先に本部より各会員宛に葉書で案内がとどいているはずである。

それによると出題の切りは1983年1月25日である。本年より出題申し込み用紙は希望者が本部あてに直接請求するか、JADR事務局に請求して入手することになるのでご注意ください(尚9月30日現在、JADR事務局には未着)。

本学会では会員でなくても出題が可能である。その方は会員経由で出題申込用紙を請求していただきたい。

## 7. 第30回 JADR総会について

12月2日(木)、3日(金)の両日、東京医科歯科大学での開催を目ざして三浦不二夫副会長のもとで準備が進められている。出題数は79題、参加予定者271名の多きに及んでおり、盛大な学会であると予想される。

今回は第30回目にあたるので、それを記念して次の二名の特別講演者をお招きしているので御期待いただきたい。

特別講演者：

Dr. Ben Moffett  
Professor, Department of Orthodontics.  
School of Dentistry, University of Washington, USA.

Dr. A. H. Melcher  
President of IADR.  
Professor and Director  
Medical Research Council Group in Periodontal Physiology  
Faculty of Dentistry, University of Toronto, Canada

学会プログラムのアウトラインは次頁の通り。

第1日 (12月2日)

	(第1会場)	(第2会場)
9:00	開会の辞	開会の辞
9:05		
	12題	12題
12:05	昼食	
13:00	8題	8題
15:00	休憩	
15:10	(第1会場)	
	Business session	
16:10	並びに第30回記念行事	
16:20	特別講演(I)	
	Dr. B. Moffett	
	"Clinical Significance of Periosteal Biology"	
18:30	Friendship meeting	

第2日 (12月3日)

9:00	12題	12題
12:00	昼食	
13:00	8題	7題
15:00	14:45まで	
15:10	(第1会場)	
	特別公演(II)	
	Dr. A. H. Melcher	
	演題未定	
16:10	閉会の辞	

## 8. IADR本部副会長(1983 - 1984)選挙について

すでに本年の IADR Reports (Vol. 4, No. 1, May 1982. page 3) で報ぜられている様に、次期の本部副会長選挙に本部指名委員会より候補者として河村洋二郎教授, Dr. Arends, Dr. Goldhaber の三名が指名されています。投票用紙は本年 11 月に本部より郵送されて来るとのことです(1983年3月1日〆切)。

河村洋二郎教授には長く IADR本部並びに日本部会のために大きな貢献をされて来られました。1973年, 1974年には部会長を務められ, 一方では IADR本部の Board of Directors (1979年, 1980年)のメンバーを務められ, 更に, 1980年には第58回 IADR大会を名誉会長ならびに組織委員長として大阪に準備, 開催され国の内外から高い評価を得られました。現在でも本部の IADR Progress in Research Committee や IADR adhoc Site Selection Committee のメンバーとして又, JADRの理事として活躍しておられます。

今回の選挙により同教授に本部副会長に就任していただくことは JADR 会員一同の願いではないかと思えます。皆様の御協力を切にお願いする次第です。

## 9. 次期事務局長(1983 - 1986)の選挙について

須賀事務局長の任期が本年末で満了するに伴い, 次期事務局長の選任を行うことになりました。9月24日の第2回理事会で相談の結果, 今回は大阪大学歯学部常光 旭教授を理事会推薦候補にお願いすることになりました。従来の方法にならい投票用紙をお送りいたしますので無記名で御投票下さいませお願いいたします(〆切: 11月10日)

## 10. 第60回 IADR 大会(ニューオリンズ)における日本人の出題状況

前号(1982-I)でプログラムより算出した日本人の出題状況をお知らせしたが, 一部に誤りがあったので訂正したものをあらためてお知らせする(次頁)。

A. ポスター発表		B. 口頭発表	
神奈川歯大	4	日大・歯	3
日本歯大	4	神奈川歯大	2
東京歯大	3	東医歯大	1
日大・歯	2	東京歯大	1
京大	2	北大・歯	1
阪大・歯	2	城西歯大	1
日大・松戸歯	1	広大・歯	1
鶴見大・歯	1	大阪歯大	1
福岡歯大	1	愛院大・歯	1
九大・歯	1		
城西歯大	1		計12
株クラレ	1		
	計23		

尚、国外の研究者と共同研究の場合、日本人が主演者でその所属が日本の大学である場合のみとした。

---

Japanese Association for Dental Research (JADR)

(国際歯科研究学会日本部会)事務局

〒102 東京都千代田区富士見1-9-20

日本歯科大学歯学部 病理学教室内

電話 (03) 261-8311 内線291, 292